

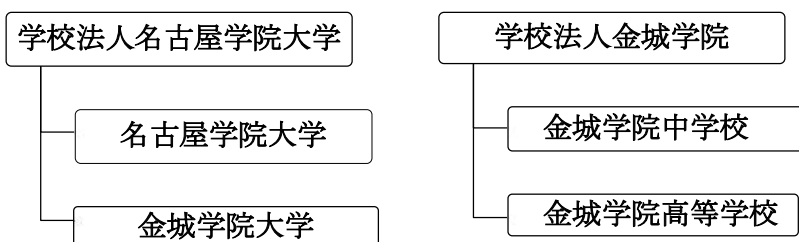
学校法人名古屋学院大学と学校法人金城学院が 金城学院大学の設置者変更に関する基本合意書を締結

学校法人名古屋学院大学(名古屋市熱田区熱田西町、理事長：西中利也)と学校法人金城学院(名古屋市守山区大森、理事長：小室尚子)は、2026年4月20日に「金城学院大学の設置者変更に関する基本合意書」を締結しました。この基本合意に基づき、金城学院大学の設置者を学校法人金城学院から学校法人名古屋学院大学に変更する協議を進めることとしました。

<概要>

- ・2028年4月に金城学院大学の設置者を学校法人名古屋学院大学に変更し、学校法人名古屋学院大学のもとに名古屋学院大学と金城学院大学が併存する運営形態に変更予定です。設置者変更後は両大学の教育連携を構想しています。学校法人金城学院は中学校、高等学校の運営をします。(金城学院幼稚園は2027年4月に設置者を名古屋YMCA学園に変更予定。)
- ・2029年4月(目途)の金城学院大学の共学化を検討します。

[設置者変更後(2028年4月以降)]



<背景>

名古屋学院大学と金城学院大学は、いずれも福音主義キリスト教に基づく建学の精神を礎として教育・研究活動を行ってきました。少子化の時代にあって、建学の精神に基づく使命をいかに果たし続けるかが経営課題となっています。

<設置者変更の目的>

- (1) 建学の精神の根幹を同じくする両大学を学校法人名古屋学院大学のもとに設置することにより、東海地区におけるキリスト教主義教育の伝統を担い続けること。
- (2) 両大学の学問領域は相互補完関係にあり、連携による領域の拡大・多様化により、現代社会に求められる文理融合教育等のニーズに的確に応えること、また産官学連携においても領域の拡大と深化による成果を地域社会へ還元すること。
- (3) 運営の統合により、学校法人名古屋学院大学は規模拡大による財務安定化と教育・研究資源の効率的活用により経営基盤の強化を図り、学校法人金城学院は経営資源の集約により伝統と教育を守り続けること。

※両法人および大学の概要は別添資料をご参照ください。